Elfin Flip Laser

取扱説明書

XGIMI

XGIMI 製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。

このたびは、XGIMI Technology Co., Ltd.（以下「XGIMI」または「当社」）の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用の前に本書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

なお、本書の指示に従わない不適切な取り扱いによって生じた故障や事故、損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書（取扱説明書）について

本書の著作権は XGIMI Technology Co., Ltd.に帰属します。記載されている商標および商号は、各権利所有者に帰属します。内容が実際の製品と異なる場合は、製品の仕様を優先させていただきます。 本書の内容について異議がある場合は、ご購入後 7 日以内に書面にて当社までお申し出ください。期限までにお申し出がない場合は、内容のすべてをご承諾いただいたものとみなします。

本書に関するご注意（免責事項）

- 本書に記載のイラストや説明はイメージであり、実際の製品とは異なる場合があります。現品を優先させていただきます。
- 製品の仕様やデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- ソフトウェアサービスは第三者により提供されるものであり、地域や通信環境、契約期間などの理由により、一部利用できない場合があります。これらは本製品の故障ではありません。詳細は各提供元へお問い合わせください。
- システムの更新により、操作画面や機能のアクセス方法などが実際の製品と異なる場合があります。

目次

安全上のご注意 1

警告 1

電源 1

設置/取り付け 2

別記 4

準備 6

使用上のご注意 7

製品の用途 7

運搬時のご注意 7

設置上のご注意 7

セキュリティ 8

保管 8

使用上のご注意 8

プロジェクターについて 9

梱包内容 9

本体 10

AC アダプターと電源コード 11

リモコン各部の名称と操作 12

使用前の準備 14

設置 15

設置方法 15

角度センサー 16

ジンバルを調整する 16

投写画面と投写距離 16
外部機器との接続 18
接続の前に 18
接続例：HDMI で AV 機器を接続する 23
接続例：HDMI でコンピューターを接続する 23
画面ミラーリング 24
iOS デバイスをご利用の場合 24
Android デバイスをご利用の場合 24
基本操作 25
本機の電源を入れる 26
電源コードの接続 26
電源インジケーター 27
本機の電源を入れる 27
本機の電源オフ/電源プラグを抜く 27
設定 28
【チャンネルと入力】 29
【入力の管理】 29
【CEC】 29
【プロジェクター】 29
【台形設定】 29
【フォーカス】 32
【視力保護モード】 32
【ディスプレイと音】 33
【画像】 33
【音声設定】 37
【ネットワークとインターネット】 38

【Wi-Fi】 38
【プライバシー】 39
【アプリ】 39
【システム】 39
【背景モードのスクリーンセーバー】 39
【電源と節電設定】 39
【デバイス情報】 39
【ユーザー補助】 40
【リモコンとアクセサリー】 41
【アクセサリーのペア設定】 41
お手入れ 42
お手入れの前に 43
お手入れ 43
故障かなと思ったら 44
付録 45
主な仕様 46
外形寸法 48

安全上のご注意

警告

- 火災や感電を防ぐため、本製品を雨に濡らしたり湿気にさらしたりしないでください。
- 長期間使用しない場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 感電の恐れがあるため、外蓋を開けないでください。お客様ご自身で分解・修理を行わないでください。修理が必要な場合は、専門の修理窓口へご相談ください。
- 電源プラグを容易に抜き差しできるよう、本製品をコンセントの近くに設置してください。
- 諸規格への適合を維持するため、設置の際は必ず本書の指示に従ってください。コンピューターや周辺機器との接続には、指定の電源コードおよびシールド付きインターフェースケーブルを使用してください。なお、本製品を無断で改造した場合、電波法等に基づき本製品の運用を禁じられることがあります。
- 投写中、レンズをのぞき込まないでください。
- 使用中はレンズが高温になります。投写を遮るような物を置かないでください。レンズの損傷や火災、焼損の恐れがあります。

電源

電源プラグを抜き差ししやすいよう、本製品の近くにあるコンセントを使用してください。異常が発生した場合は、直ちに電源を遮断してください。そのまま使用を続けると、火災や感電、視力を損なう原因となります。

- 内部に異物や水が入った場合は、直ちに電源を遮断してください。
- 本製品を落としたり筐体が破損したりした場合は、直ちに電源を遮断してください。
- 煙が出たり、異臭や異常な音がしたりした場合は、直ちに電源を遮断してください。修理は指定の修理窓口へ依頼し、ご自身での修理は絶対に行わないでください。

雷が鳴りだしたら、感電防止のため本製品やケーブル類に触れないでください。

電源コードや電源プラグを傷つけないでください。傷んだまま使用すると、感電やショート、火災の原因となります。

- 電源コードを加工、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、束ねるなどの行為はしないでください。また、熱器具に近づけたり、重い物を載せたりしないでください。
- 電源コードに異常がある場合は、指定の修理窓口へ依頼してください。

付属の電源コード以外は使用しないでください。感電や火災の原因となるおそれがあります。

電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込み、電源コネクタも本製品の電源入力端子にしっかりと接続してください。差し込みが不完全だと、感電や過熱による火災の原因となります。

- 破損した電源プラグや、差し込みが緩くなったコンセントは使用しないでください。

濡れた手で電源プラグやコネクタに触れないでください。感電の原因となります。

コンセントの定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで負荷が過大になると、発熱や火災の原因となります。

電源プラグにほこりがたまらないよう、定期的に清掃してください。

- ほこりがたまると湿気を吸収し、絶縁不良による火災の原因となります。
- 長期間ご使用にならないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 定期的に電源プラグをコンセントから抜き、乾いた布でほこりを拭き取ってください。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグやコネクタを持って抜いてください。コードが破損すると、火災やショート、感電の原因となります。

設置/取り付け

湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気の当たる場所に設置しないでください。

- 火災や感電、部品の劣化の原因となります。
- 特に油汚れはプラスチックを劣化（変質）させるため、天吊り設置時に本製品が破損し、落下する恐れがあります。

高温になる場所に設置しないでください。外装や内部部品の劣化、または火災の原因となります。

- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなどでは、特に注意してください。

塩害の発生する場所や、腐食性ガスの発生する場所に設置しないでください。腐食により本製品が落下する恐

れがあります。また、故障の原因となります。

じゅうたんやマットなどの柔らかい物の上に本製品を置かないでください。内部に熱がこもり、発火や火災、故障の原因となります。

本製品の質量に耐えられない場所や、傾いた場所、不安定な場所には設置しないでください。本製品が落下・転倒し、けがや故障の原因となります。

人が通る場所には設置しないでください。本製品にぶつかったり、電源コードに足を引っかけたりすると、落下や転倒によるけが、火災・感電の原因となります。

吸気口や排気口をふさいだり、周囲 50cm（500mm）以内に物を置かないでください。内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。

- 狭い場所や風通しの悪い場所には設置しないでください。
- テーブルクロスや紙など、吸気口に吸い込まれやすいものを本製品の下に敷かないでください。

本製品の上に重い物を置かないでください。バランスを崩して本製品が落下・転倒し、けがや故障の原因となります。また、本製品が破損・変形する恐れがあります。

本製品に乗ったり、座ったりしないでください。転倒してけがをしたり、本製品が破損したりする原因となります。

使用中にレンズから出る光をのぞき込んだり、皮膚や衣類を近づけたりしないでください。また、投写光の中で光学機器（ルーペや鏡など）を使用しないでください。失明や視力障害、火傷の原因となります。

- 特にお子様がレンズをのぞき込まないよう、十分注意してください。また、本製品から離れるときは、電源を切り、電源プラグを抜いてください。
- 使用中はレンズの前に物を置かないでください。投写光の熱により、置いた物が変形・破損したり、本製品の故障の原因となります。

本製品を移動するときは、必ずすべてのケーブル類を取り外してください。ケーブルを接続したまま移動すると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となります。

本製品の改造や分解は、絶対にしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。点検・調整・修理は、お買い上げの販売店または修理センターにご相談ください。

本製品の内部に金属類や燃えやすいもの、液体を入れないでください。また、本製品を濡らさないでください。ショートや内部の温度上昇により、火災や感電、故障の原因となります。

- 本製品の近くに、液体の入った容器や金属類を置かないでください。
- 万一本製品の内部に液体が入った場合は、お買い上げの販売店または修理センターにご相談ください。
- 特にお子様には十分ご注意ください。

天吊り設置の際は、必ず XGIMI 指定の天吊り金具を使用してください。指定以外の金具を使用すると、本製品が落下する原因となります。

- 天吊り設置の際は、取付用ネジや電源コードが天井裏の金属部に接触しないようにしてください。接触すると、感電事故の原因となります。

取り付け工事（例えば、天吊り設置など）は、専門の資格を有する技術者のみが行ってください。不適切な取り付けは、けがや感電などの事故の原因となります。

別記

電池を正しく使用・廃棄するために、以下の説明を必ずお読みください。

誤った取り扱いをすると、液漏れ、発熱、破裂、発火の原因となり、火傷やけがなどの事故につながる恐れがあります。

- 指定以外の電池は使用しないでください。
- 乾電池は充電しないでください。
- 乾電池を分解しないでください。
- 電池を火の中に投入したり、加熱したり、水に濡らしたりしないでください。
- 電池のプラス（+）端子とマイナス（-）端子を、ネックレスやヘアピンなどの金属類でショートさせないでください。
- 電池を金属類と一緒に保管したり、持ち運んだりしないでください。
- 電池を保管する際はポリ袋などに入れ、金属類から遠ざけてください。
- 電池を入れるときは、プラス（+）とマイナス（-）の向きを正しく入れてください。
- 新しい電池と古い電池、または種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- 外装ラベルのはがれた電池は使用しないでください。

電池が液漏れしたときは、液に直接手で触れず、必要に応じて以下の処置を行ってください。

- 皮膚や衣服に付着した場合は、皮膚の炎症やけがの原因となるため、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合は、失明のおそれがあるため、こすらずに、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診察を受けてください。

お子様が電池に触れないようにしてください。付属品を誤って飲み込むと、身体に重大な危害を及ぼすおそれがあります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

リモコン内の消耗した電池は、速やかに取り出してください。消耗した電池をそのまま放置すると、電池の液漏れや異常発熱、さらには破裂の原因となります。

準備

本章では、本機をご使用になる前に、ご確認いただきたい事項について説明します。

- **使用上のご注意**
- **プロジェクターについて**

01

使用上のご注意

製品の用途

本機は、映像機器やコンピューターからの映像信号をスクリーン等に投射し、静止画や動画を映し出すための製品です。

運搬時のご注意

- 本体を運ぶときは、底面をしっかり持って運んでください。落下により、故障や変形の原因になったり、けがをしたりするおそれがあります。
- プロジェクターを移動させるときは、過度な振動や衝撃を与えないでください。内部部品が破損し、故障の原因となります。

設置上のご注意

次のような場所には、プロジェクターを設置しないでください。

- 車内やその他の乗り物内など、振動や衝撃が発生する場所：内部部品が破損し、故障の原因となります。
- 海辺や腐食性ガスの発生する場所：腐食によりプロジェクターが落下するおそれがあります。また、部品の寿命が短くなったり、故障の原因となったりします。
- エアコンの吹き出し口付近：ご使用の条件により、エアコンからの送風や排気による熱気の影響で、投写画面に揺れが生じることがあります。本体や他の機器からの排気、およびエアコンの風が、プロジェクターの前面に直接当たらないようにしてください。
- 光源（スタジオ用照明など）の近くなど、温度変化の激しい場所：光源の寿命が短くなったり、熱による本体の変形や故障の原因となります。プロジェクターの動作周囲温度の範囲内でご使用ください。
- 高圧送電線やモーターの近く：プロジェクターの動作に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- 高出力のレーザー機器がある場所：投写レンズ面にレーザー光線が当たると、DLP チップが破損する原因となります。

天吊り設置などの取り付け工事は、必ず専門の技術者に依頼してください。天井や高所に設置する場合は、本製品の性能確保および安全のため、専門家による施工が必要です。

周囲温度が 40℃を超える場所では使用しないでください。高地や周囲温度の高い場所で使用すると、部品の寿命が短くなったり、故障の原因となったりすることがあります。

セキュリティ

本製品をご使用になる際は、以下の事態に備え、適切なセキュリティ対策を講じてください。

- 本製品の使用による個人情報の漏えい
- 悪意のある第三者による本製品への不正操作
- 悪意のある第三者による本製品への妨害行為および通信の遮断

適切なセキュリティ対策を講じてください（例：再生制御機能、Web 管理画面機能など)。

- 推測されにくいパスワードを設定してください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- 当社または関係会社が、お客様に直接パスワードをお尋ねすることはありません。万一、そのような問い合わせがあっても、絶対にパスワードを教えないでください。
- ネットワークへの接続は、必ずファイアウォールなどのソフトウェアで保護された環境で行ってください。

保管

プロジェクターを保管するときは、湿気の少ない乾燥した場所に保管してください。

使用上のご注意

より良い画質でお楽しみいただくために

適切な視聴環境を整えることで、コントラストのより高い画質を楽しむことができます。屋外からの光や室内

の照明がスクリーンに直接当たらないよう、カーテンやブラインドを閉め、スクリーン付近の照明を消灯してください。

投写レンズの表面に直接手で触れないでください

指紋や汚れが付着すると、スクリーンに拡大して映り込むことがあります。

DLP チップについて

高出力のレーザー光線が投写レンズ面に当たると、DLP チップが破損する原因となります。

動作中にプロジェクターを動かしたり、振動や衝撃を与えたりしないでください。内蔵モーターの寿命が短くなる原因となります。

光源

本製品の光源にはレーザーダイオードを使用しており、以下の特性があります。

周囲温度の影響により、光源の明るさは低下します。温度が高くなるほど、明るさの低下は早くなります。

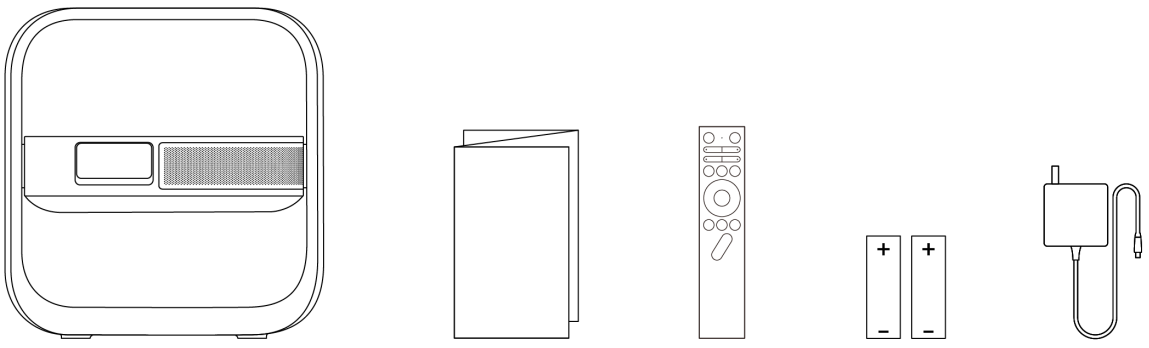
光源の明るさは、使用時間の経過とともに低下します。明るさが著しく低下したり、光源が点灯しなくなったりした場合は、お買い上げの販売店やサポートセンターにご相談ください。

コンピューターや外部機器との接続

コンピューターや外部機器を接続するときは、本書の電源コードやシールドケーブルの使用に関する説明をよくお読みください。

プロジェクターについて

梱包内容



① 本体

② 取扱説明書 & 保証書

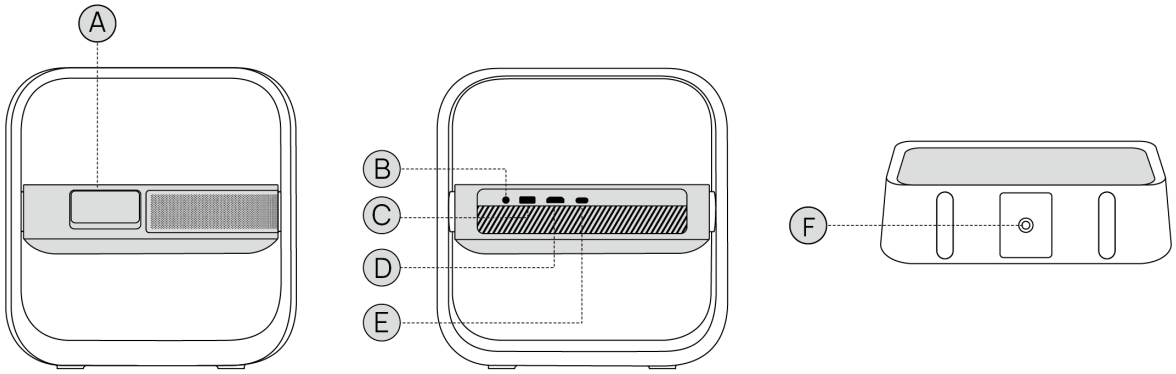
③ バックライト付き Bluetooth リモコン

④ 乾電池

⑤ 電源プラグ

本体

各部の名称と機能



A. 投影レンズ

B. 電源端子

C. USB 端子

D. HDMI 端子/eARC

E. 電源ボタン

F. 三脚用ソケット

AC アダプターと電源コード

本製品には、ご使用の国・地域の規格に適合した AC アダプターと電源コードが同梱されています。

必ず付属の AC アダプターと電源コードのセットを使用してください。

リモコン各部の名称と操作

ボタンの配置：リモコンの上から下、左から右の順に、以下の表とイラストで説明します。

A. 電源オン/オフ

B. ストリーミング

C. フォーカス

D. 戻る

E. Google アシスタント

F. ミュートボタン

G. ショートカット

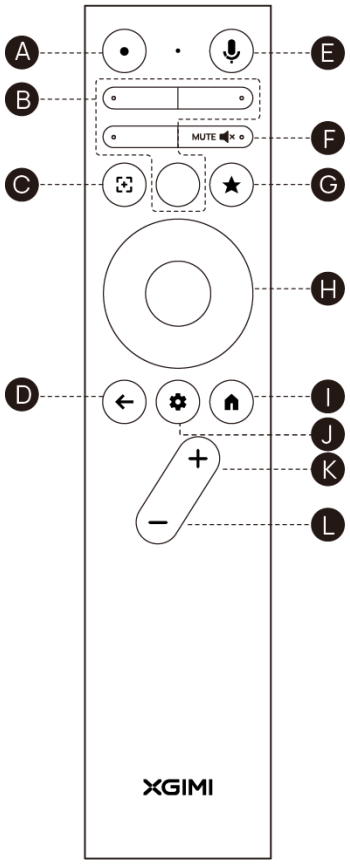
H. ナビゲーション

I. ホーム

J. 設定

K. 音量アップ

L. 音量ダウン



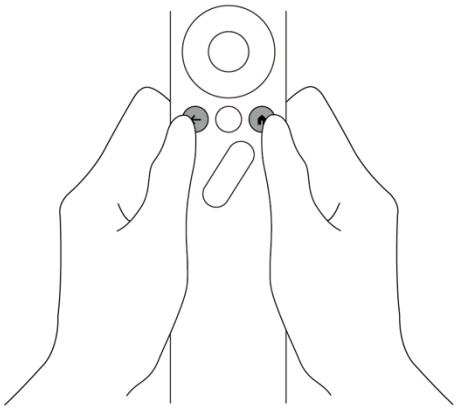
リモコンの使用方法

1. リモコンを本体から 10cm 以内に近づけます。

2. 「戻る」と「ホーム」を同時に長押しすると、表示灯が点滅し、設定モードに入ります。

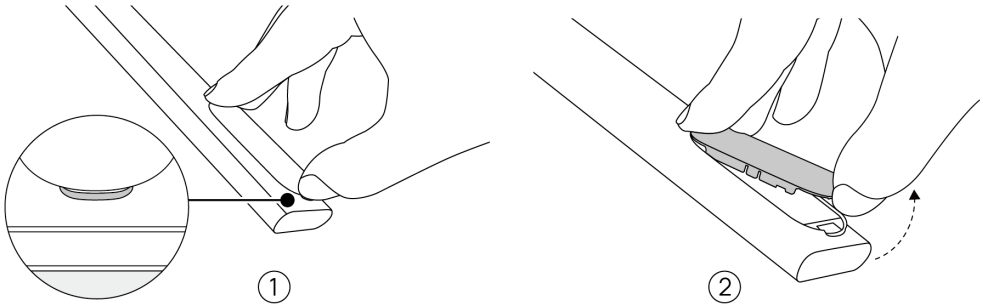
3. 点滅したらボタンを離してください。「ピー」と鳴れば接続完了です。

4. 接続できない場合は、30 秒待ってから操作をやり直してください。



リモコン乾電池の交換方法

1. リモコン本体と電池カバーの隙間に、指の爪または先の細い工具を差し込み、矢印の方向へゆっくり持ち上げて電池カバーを外してください。



2. 新しい単 4 形乾電池 2 本を入れます。電池のプラス（+）とマイナス（-）を、電池ケース内の表示に合わせて正しく入れてください。

3. 電池カバーを「カチッ」と音がするまでリモコンに押し込みます。

注意事項

1. 操作が不安定なときは、新しい乾電池に交換してください。

2. 長期間使用しないときや乾電池が切れたときは、必ず取り出してください（使用済みの電池は環境に配慮し、お住まいの地域の規則に従って廃棄してください)。

その他

無線機器の特性上、リモコンと本体の間の信号が遮断されたり、干渉を受けたりすることがあります。

電池残量が十分な状態でリモコンが正常に動作しない場合は、電池を一度取り外し、「決定」ボタンを 5～10 秒間長押ししてから再度取り付けてください。

使用前の準備

本章では、設置や接続など、本製品をご使用になる前に必要な準備について説明します。

- **設置**
- **外部機器との接続**
- **画面ミラーリング**

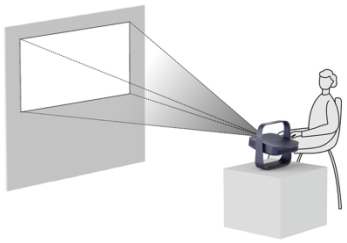
02

設置

設置方法

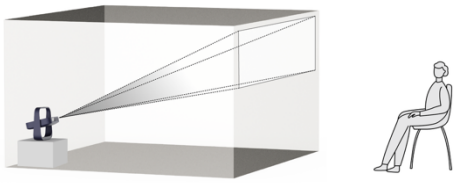
設置環境に合わせて適切な投写方式を選んでください。【設定】->【プロジェクター】->【プロジェクター位置】から【自動】、【フロント】【天井】を選択、および【リア】のオン/オフを切り換えます。

据え置き/フロント投写



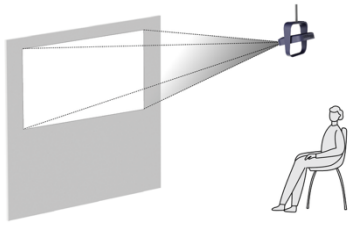
メニュー項目	設定値
[リア]	[オフ]
[自動/フロント/天井]	[自動]あるいは[フロント]

据え置き/リア投写（半透過型スクリーン使用）



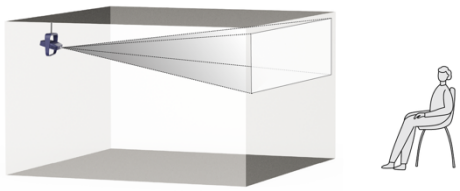
メニュー項目	設定値
[リア]	[オン]
[自動/フロント/天井]	[自動]あるいは[フロント]

天井/フロント投写



メニュー項目	設定値
[リア]	[オフ]
[自動/フロント/天井]	[自動]あるいは[天井]

天井/リア投写（半透過型スクリーン使用）



メニュー項目	設定値
[リア]	[オン]
[自動/フロント/天井]	[自動]あるいは[天井]

角度センサー

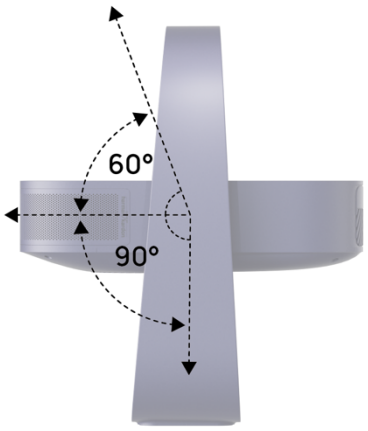
内蔵の角度センサーで以下の範囲内の設置姿勢を検知します。

正置：水平（0°）を起点として±90°の範囲。

天吊り：反転水平（0°）を起点として±90°の範囲。

ジンバルを調整する

本機の位置を固定した後、ジンバルで角度を調整できます。調整範囲は垂直方向に 150°（-60°∽90°）です。



投写画面と投写距離

投写画面のサイズと投写距離を確認し、本機を設置してください。画面サイズや設置場所に合わせて、画像の大きさや位置を調整できます。

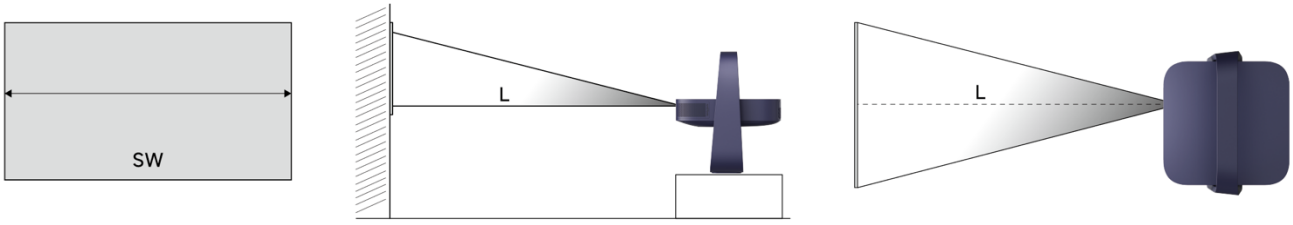
ご注意:

- 設置の前に、必ず「安全上のご注意」をお読みください。
- 本機は、背面がスクリーンと平行になるように設置してください。投写画面が長方形になります。
- 同一室内で高出力レーザー機器を使用しないでください。レーザー光がレンズに当たると、DLP チップが故障する原因となります。

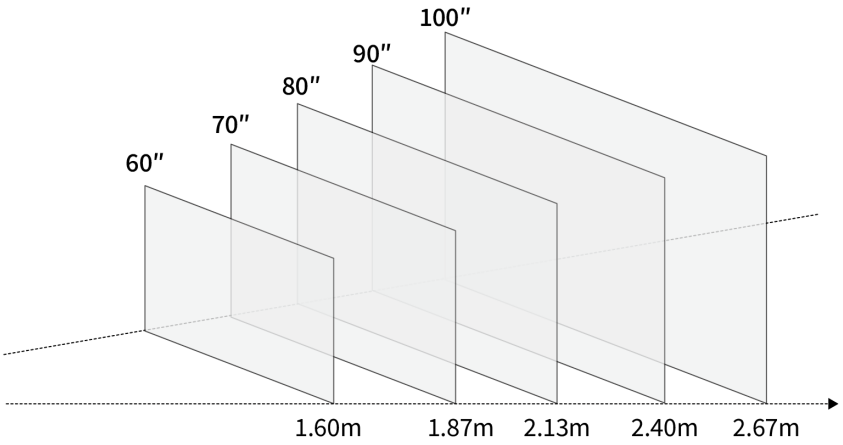
投写画面と投写距離

レンズ面が壁面に対して垂直になるように本機を設置すると、標準的な長方形の画面になります。投写距離とズームの関係は以下の通りです。

投写比=投写距離（L）/画面幅（SW）



ご注意: 図は投写画面のサイズと位置を調整し、スクリーン全体に合わせている状態です。投写距離（L）はレンズ面からスクリーンまでの距離であり、本機の設置位置からの距離ではありません。



スローレシオ 1.2 : 1														
				推奨投影サイズ										
投影サイズ	型	40	50	60	70	80	90	100	110	120	130	140	150	200
	高(cm)	50	62	75	87	100	112	125	137	149	162	174	187	249
	幅(cm)	89	111	133	155	177	199	221	244	266	288	310	332	443
投影距離	単位: m	1.06	1.33	1.60	1.87	2.13	2.40	2.67	2.93	3.20	3.47	3.73	4.00	5.33

ご注意: 投写サイズごとの投写距離は目安であり、実際とは異なる場合があります。

外部機器との接続

接続の前に

- 接続する前に、外部機器の取扱説明書をよくお読みください。
- すべての機器の電源を切ってから、ケーブルを接続してください。
- 故障の原因となりますので、ケーブルを接続する際は以下の点にご注意ください。
- 本機や外部機器にケーブルを接続する前に、身近な金属製のものに触れて身体の静電気を除去してください。
- 必要以上に長いケーブルを使用しないでください。ケーブルが長すぎたり、巻いた状態で使用したりすると、干渉を受けやすくなります。
- 接続ケーブルが付属していない場合やオプション品として用意されていない場合は、市販の適切な接続ケーブルをご用意ください。
- 映像出力の設定変更などにより、コンピューターやビデオ機器の同期信号が途切れると、投写画面の色が一時的に乱れることがあります。
- 本機は、HDMI デジタル信号に対応しています。
- コンピューターの機種やグラフィックボードによっては、本機と互換性がない場合があります。
- 本機で使用可能な映像信号の種類については、以下の仕様をご確認ください。

対応動画形式			
動画コーデック	**解像度 / フレームレート**	**最大ビットレート**	**コンテナ**
VP8	1920x1080@60fps	40Mbps	.mkv.webm.3gpp.3gp.mp4.mov.avi.ogm
VP9	1920x1080@60fps	100Mbps	.mkv.webm
AV1	1920x1080@60fps	100Mbps	.mp4.mov .mkv.webm

H.263	704x576@60fps	60Mbps	.mp4.mov.3gpp.3gp .avi.asf.wmv
AVC/H.264	1920x1080@60fps	135Mbps	.flv.mp4.mov.3gpp.3gp.ts.trp.tp.asf.wmv .avi.mkv.ogm.DAT.VOB.MPG.MPEG.264
HEVC/H.265	1920x1080@60fps	100Mbps	.mp4.mov.3gpp.3gp.ts.trp.tp .mkv.flv.avi.265
VVC/H.266	1920x1080@60fps	100Mbps	.mp4.mov.ts.trp.tp
MPEG1/2	MPEG1: 720x576@30fps MPEG2: 1920x1080@60fps	60Mbps	.DAT.VOB.MPG.MPEG.ts.trp.tp.mp4.mov .3gpp.3gp.avi.mkv.asf .wmv.ogm
MPEG4	1920x1080@60fps	60Mbps	.mp4.mov.3gpp.3gp.avi.mkv.asf.wmv .ogm.ts.trp.tp.DAT.VOB.MPG.MPEG
Motion JPEG	1920x1080@60fps	80Mbps	.avi.3gpp.3gp.mp4.mov.mkv.ogm
AVS	1920x1080@60fps	60Mbps	.ts.trp.tp.mp4.mov.avs
AVS+	1920x1080@60fps	60Mbps	.ts.trp.tp.avs
AVS2	1920x1080@60fps	100Mbps	.ts.trp.tp.avs2
WMV3	1920x1080@60fps	60Mbps	.asf.avi.mkv.wmv.3gpp.3gp.mp4.mov .ogm
VC1	1920x1080@60fps	60Mbps	.ts.trp.tp.asf.wmv.avi.mkv .3gpp.3gp.mp4.mov.vc1
RealVideo	1920x1080@60fps	60Mbps	.rm.rmvb.mkv

8/9/10			

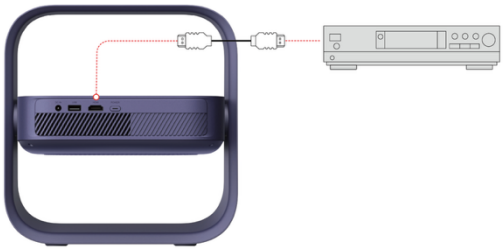
音声コーデック			
音声コーデック	**チャンネル数**	**最大ビットレート**	**コンテナ**
MPEG1/2 Layer1	Up to 2	32Kbps ~ 448Kbps	.mp3.avi.asf.wmv .mkv.mka.3gpp.3gp .mp4.mov.m4a .ts.trp.tp.flv.wav.ogm .DAT.VOB.MPG.MPEG
MPEG1/2 Layer2	Up to 2	8Kbps ~ 384Kbps	.mp3.avi.asf.wmv .mkv.mka.3gpp.3gp .mp4.mov.m4a .ts.trp.tp.flv.wav.ogm .DAT.VOB.MPG.MPEG
MPEG1/2/2.5 Layer3	Up to 2	8Kbps ~ 320Kbps	.mp3.avi.asf.wmv .mkv.mka.3gpp.3gp .mp4.mov.m4a .ts.trp.tp.flv.wav.ogm .DAT.VOB.MPG.MPEG
AC3(DD)	Up to 5.1	32Kbps ~ 640Kbps	.ac3.avi.asf.wmv

			.mkv.mka.3gpp.3gp .mp4.mov.m4a .ts.trp.tp.ogm .DAT.VOB.MPG.MPEG
EAC3(DDP)	Up to 7.1 channels Or 15 objects+1 LFE channel	<3Mbps	.ec3.avi.asf.wmv .mkv.mka.3gpp.3gp .mp4.mov.m4a .ts.trp.tp.ogm .DAT.VOB.MPG.MPEG
AAC-LC, HEAAC	Up to 5.1	AAC-LC: 12Kbps~ 576Kbps HEAAC V1: 6Kbps ~ 288Kbps HEAAC V2: 3Kbps ~ 144Kbps	.aac.avi.asf.wmv .mkv.mka.3gpp.3gp .mp4.mov.m4a .ts.trp.tp.flv.wav.ogm .DAT.VOB.MPG.MPEG .rm.rmvb.ra
WMA	Up to 2	128Kbps ~ 320Kbps	.asf.wma.wmv.avi .mkv.mka.3gpp.3gp .mp4.mov
WMA 10 Pro M0	Up to 2	< 192Kbps	.asf.wma.wmv.avi 3gpp.3gp.mp4.mov

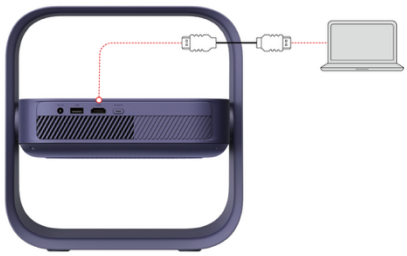
WMA 10 Pro M1	Up to 5.1	< 384Kbps	.asf.wma.wmv.avi 3gpp.3gp.mp4.mov
WMA 10 Pro M2	Up to 5.1	< 768Kbps	.asf.wma.wmv.avi 3gpp.3gp.mp4.mov
VORBIS	Up to 2	/	.mkv.mka.webm .3gpp.3gp .mp4.mov.m4a .ogg.wmv.asf.avi
LPCM	Mono, Stereo, 5.1	64Kbps ~ 1.5Mbps	.wav.avi.asf.wmv .mkv.mka.3gpp.3gp .mp4.mov.m4a .ts.trp.tp.flv.ogm .DAT.VOB.MPG.MPEG
IMA-ADPCM MS-ADPCM	Up to 2	32Kbps ~ 384Kbps	.mkv.mka.avi.ogm .wav
G711 A/mu-law	1	64Kbps	.mkv.mka.flv.avi.wav
LBR (cook)	Up to 5.1	6Kbps ~ 128Kbps	.rm.rmvb.ra
FLAC	Up to 2	< 1.6Mbps	.mkv.mka.flac
DRA	Up to 7.1	< 6Mbps	.ts.trp.tp
OPUS	Up to 6	6Kbps ~ 510Kbps	.mkv.mka.webm
AC4	Up to 11 channels	< 3Mbps	.mp4.mov.m4a

	Or 10 objects		.ts.trp.tp.ac4
Fraunhofer MPEG-H TV Audio System	Up to 16 core channels Up to 5.1 channels output	~1.2 Mbps	.mp4.mov.mkv.mka .ts.trp.tp.mts.m2ts

接続例：HDMI で AV 機器を接続する



接続例：HDMI でコンピューターを接続する



ご注意:

HDMI で外部機器を接続した後は、【設定】->【チャンネルと入力】->【入力の切り替え】から信号源を切り替えてください。

- HDMI 規格に適合した「ハイスピード HDMI ケーブル」をご使用ください。ハイスピード規格を超える映像信号を入力する場合は、18 Gbps の高速伝送に対応した「プレミアムハイスピード HDMI ケーブル」などをご使用ください。規格外の信号を入力すると、映像が途切れたり投写できなかったりする原因となります。

画面ミラーリング

iOS デバイスをご利用の場合

1. プロジェクターのホーム画面から「MagiCast」アプリを起動します。

2. iPhone、iPad、または MacBook で「画面ミラーリング」を開きます。お使いのデバイスとプロジェクターが同じ Wi-Fi ネットワークに接続されていることを確認し、画面をミラーリングしてください。

Android デバイスをご利用の場合

1. Android デバイスに「Google Home」アプリをインストールします。

2. お使いのデバイスとプロジェクターが同じ Wi-Fi ネットワークに接続されていることを確認します。

3. Google Home アプリを起動し、ホーム画面のキャストボタンをタップすると、画面を投影できます。

基本操作

本章では、基本的な使いかたについて説明します。

- **本機の電源を入れる**
- **本機の電源オフ/電源プラグを抜く**

03

本機の電源を入れる

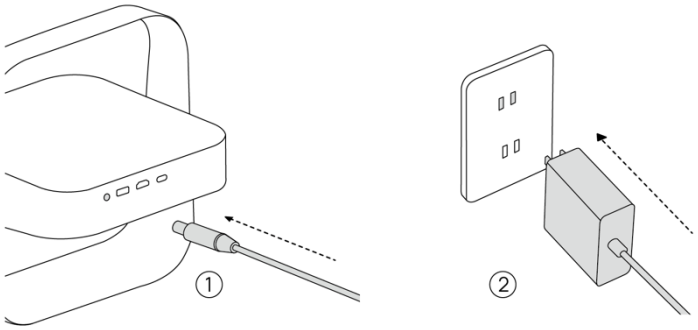
電源コードの接続

電源コードの取り付けかた

本機の電源端子と電源コードのコネクターの形状を確認し、向きを合わせて奥まで確実に差し込んでください。

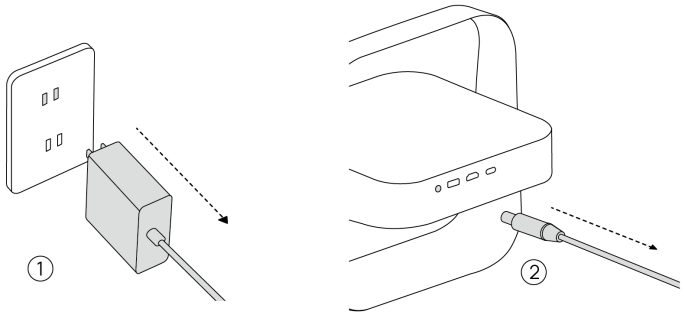
付属の電源コードが本機の電源端子にしっかりと固定され、簡単に抜けないことを確認してください。

電源コードの取り扱いについては、「安全上のご注意 - 電源」の項目を参照してください。



電源コードの取り外しかた

電源コードのコネクター部を持ち、本機の電源端子から引き抜いてください。



電源インジケーター

通常操作時における、インジケーターの状態変化は以下の通りです。

電源接続時:　電源接続時に点灯し、システムが起動して待機状態になると消灯します。

投写モード起動時:　ホーム画面またはセットアップガイドが表示されるまで点灯し、その後消灯します。

電源オフ時の USB アップデート:　本機の電源ボタンを 6 秒間長押しすると、2 秒間速く点滅した後に点灯します。アップデート完了後に起動処理が始まり、ホーム画面が表示されると消灯します。

投写モード -> 再起動: 消灯状態から点灯に変わり、ホーム画面が表示されると消灯します。

投写モード -> 電源オフ: 終了処理中、消灯状態から点灯に変わり、ファンが停止すると消灯します。

投写モード -> 画面オフ: 消灯状態から点灯に変わります。

画面オフ -> 投写モード: 点灯状態から消灯に変わります。

画面オフ -> 点灯状態を維持し、ファンが停止すると消灯します。

本機の電源を入れる

1. 電源コードを本機に接続します。
2. 電源プラグをコンセントに差し込みます。電源インジケーターが点灯した後に消灯し、システムが起動します。
3. 電源ボタンを押して電源を入れます。電源インジケーターが点灯し、投写画面が表示されると消灯します。

本機の電源オフ/電源プラグを抜く

1. 電源オフ: 本機またはリモコンの電源ボタンを押します。終了処理中は電源インジケーターが点灯し、ファンが停止して消灯すると電源が切れます。
2. 電源が切れている状態でも、Google アシスタントに対応した他の機器から本機の電源を入れることができます。この機能を無効にするには、【設定】->【システム】->【電源と節電設定】から低消費電力モードを選択してください。
3. 電源プラグを抜く: コンセントに差し込まれた電源プラグを持ち、引き抜いてください。

設定

- 【チャンネルと入力】
- 【プロジェクター】
- 【ディスプレイと音】
- 【ネットワークとインターネット】
- 【プライバシー】
- 【アプリ】
- 【システム】
- 【ユーザー補助】
- 【リモコンとアクセサリー】

04

【チャンネルと入力】

【入力の管理】

【HDMI 1】を選択すると、対応する外部機器の映像が表示されます。

ご注意:

1. 本機と外部機器（ストリーミング機器など）を、対応するケーブルで接続してください。
2. 映像が表示されない（「信号なし」と表示される）場合は、外部機器の電源が入っているか、ケーブルが正しく接続されているかを確認してください。

【CEC】

グローバルな CEC コントロール: 有効にすると、本機と接続した外部機器を相互に操作できます。

接続されたデバイスをテレビで OFF にすることを許可: 有効にすると、本機の電源を切ったときに、接続している CEC 対応機器の電源も連動して切れます。

接続されたデバイスでテレビを ON にすることを許可する: 有効にすると、接続している CEC 対応機器の電源を入れたときに、本機の電源も連動して入ります。

【プロジェクター】

【台形設定】

【設定】->【プロジェクター】->【台形設定】から、台形補正の設定を行います。

【自動台形補正】

ボタン一つで画面の歪みを自動補正し、鮮明な映像を投写します。

【画面アジャスト機能】

画像が画面の端に合うよう自動調整します。

① スマートフォンのカメラで QR コードをスキャンします。

② 投影位置を調整し、投影画像がスクリーン全体を覆うようにしてください。オフアクシス投影角度が 20

度を超えないようにしてください。

③ スマートフォンで写真を撮影し、アップロードして画面の位置合わせを完了します。

【台形設定】

① **起動時の自動台形**：有効にすると、電源を入れるたびに自動で画面を補正します。手動での調整は不要です。

② **変位時の自動台形**：有効にすると、本機の移動や角度の変化を検知して自動で画面を補正し、常に正しい比率を維持します。

③ **台形調整：**画面補正の不具合を検知し、調整を行うことで正常な状態に復旧させます。

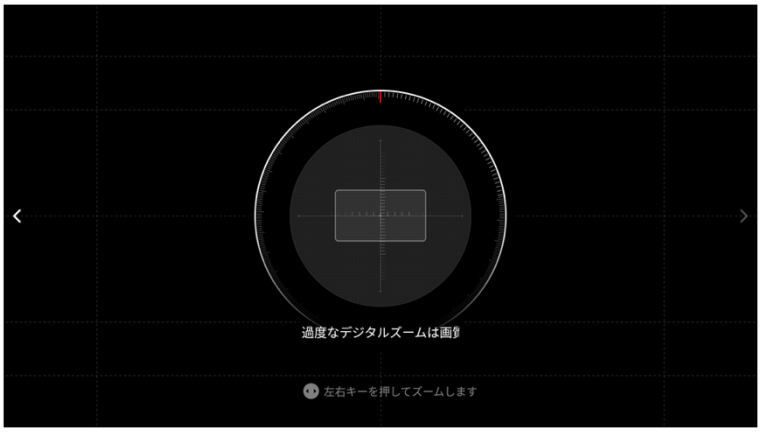
ご注意：①、②の台形補正設定を有効にすると、シームレスな自動台形補正が行われます。補正中は、画面上にメッセージなどの表示はありません。

【手動台形補正】

【手動台形補正】を選択すると、4 点補正画面が表示されます。OK ボタンで角を選択し、方向ボタンで位置を調整してください、「戻る」キーを押すと、手動台形補正を終了します。

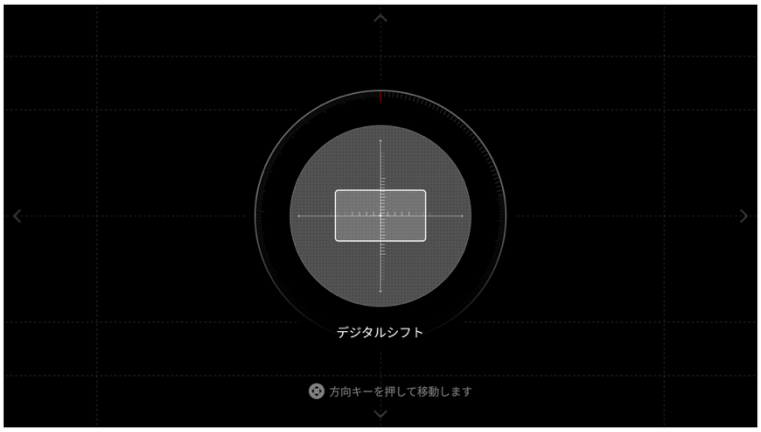
【画像ズーム】

デジタルズーム: デジタル処理によってさらに画面を縮小します。デジタル処理によるズームのため、画質が低下する場合があります。左方向キーで画面を縮小し、右方向キーで画面を拡大します。調整後は「戻る」キーを押してズーム調整を終了してください。



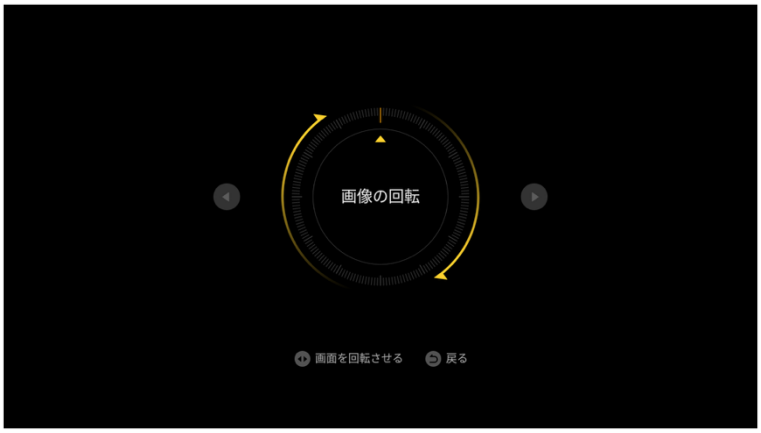
【画像変位】

レンズを動かして、画質を維持したまま画面位置を調整します。方向ボタンで上下左右に動かせます。本機能は、デジタルズームで画面を縮小した場合にのみ使用できます。



【画像の回転】

設置面に凹凸がある場合でも、画面回転補正機能により画面の傾きを補正できます。本機能はデジタル処理によって画面を補正するため、画質が低下する場合があります。

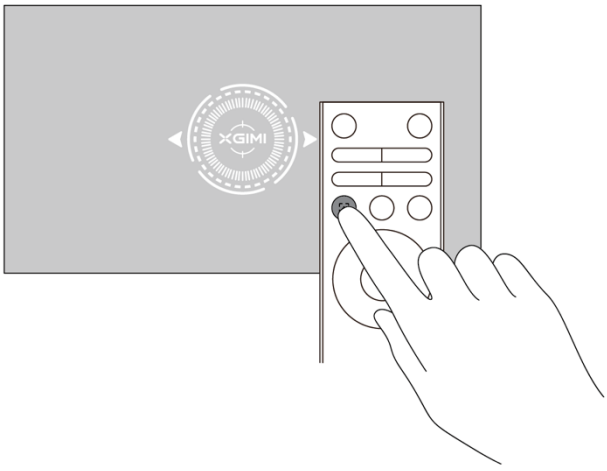


【画面を元に戻す】

デジタルズーム、レンズシフト、台形補正を含むすべての設定を、標準のサイズ・形状・位置に戻します。

【フォーカス】

【設定】->【プロジェクター】->【フォーカス】から、ピント調整を行います。



オートフォーカス：投写距離に合わせて、ピントを自動調整します。フォーカスボタンを短押しして、オートフォーカスを実行することもできます。

マニュアルフォーカス：フォーカスボタンを長押しするか、メニューの【マニュアルフォーカス】から、「左右ボタン」でピントを調整します。

起動時の自動焦点：有効にすると、電源を入れるたびに自動でピントを合わせます。

動作開始時の自動焦点：有効にすると、本機の移動や角度の変化を検知して自動でピントを合わせます。

焦点調整：ピント調整の不具合を検知し、正常な状態に復旧させます。

【視力保護モード】

有効にすると、レンズの前に人が入ったことを検知して輝度を下げ、目に強い光が入るのを防ぎます。人が離れると、明るさは自動で元に戻ります。

【ディスプレイと音】

【画像】

【ホーム】

項目名	説明
プロジェクター光出力	方向ボタンで、光源の物理的な明るさを直接調整します。
画像モード	視聴内容に合わせて、最適な画質設定を選択できます。 設定項目：標準、映画、ビビッド、ゲーム、スポーツ。
明るさ	映像信号を処理して、画面全体の明暗を調整します。数値を上げると明るくなり、下げると暗くなります。
コントラスト	明暗の差を調整し、映像にメリハリをつけます。上げすぎると白飛びや黒つぶれの原因となります。
彩度	色の濃淡を調整します。数値を上げると鮮やかになり、下げるとモノトーンに近づきます。
シャープネス	輪郭や細部の精細度を調整します。上げすぎるとノイズや二重線が発生する場合があります。
詳細設定	画像設定では、画質に関する各種設定を詳細に調整し、視聴環境やお好みに合わせた映像に設定できます。
デフォルトに戻す	上記すべての項目をお買い上げ時の設定に戻します。

【画像モード】

項目名	説明
標準	色再現のバランスに優れた自然な映像モードです。適度な色域で、動画視聴やオフィス用途など、日常のさまざまなシーンに適しています。地域ごとの視覚特性を考

	慮して調整されており、自然な見え方と幅広い用途への対応を両立しています。
映画	映像制作で広く採用されている色彩基準に基づき、色彩を忠実かつ正確に再現します。映画やドラマなどの映像コンテンツ向けに最適化されており、制作者の意図に沿った映像表現をお楽しみいただけます。
ビビッド	ダイナミックコントラスト技術により、深みのある黒と明部のディテールを両立。暗部から明部まで、シーンに応じた自然でメリハリのある映像を再現します。
ゲーム	映像本来の色彩を維持しながら、彩度を適度に高め、シャープネスを抑えるとともに、ノイズリダクションを無効にします。映像処理による遅延や不要な補正を抑え、ゲームへの没入感を高めます。
スポーツ	映像本来の色彩を維持しながら、ダイナミックコントラストを抑制し、動きの速い映像で発生しやすい残像やちらつきを軽減します。スポーツなどの高速な動きのあるシーンを、より鮮明で滑らかに表示します。

【詳細設定】

項目	**用途**
11 ポイント ホワイトバランス補正	11 段階の階調ごとに色バランスを独立調整し、精緻な色彩を再現します。
2 ポイント ホワイトバランス補正	RGB のゲインとオフセットを調整し、素早く色調を補正します。
色温度	お好みに合わせて、画面の色温度を切り換えます。
ガンマ	輝度の分布曲線を調整し、映像の明暗表現を最適化します。
色空間	各種規格（ネイティブ、BT.2020、DCI-P3、Rec.709）から、映像ソースに適した色域を選択します。

カラーチューナー	特定の色ごとに、色相・彩度・輝度を独立して調整します。
MEMC	低フレームレートの映像に中間フレームを挿入し、残像感やカクつきを低減します。設定は、リアルシネマ、弱、中、強から選択できます。 ※リアルシネマは、元のフレームレートを維持することで、不自然な動きを抑え、映画本来の質感を再現します。
HDR	HDR コンテンツの明るい光と深い暗部を同時に描き出し、より豊かな細部を表現します。HDR 信号を検知すると自動で有効になりますが、手動で無効にすることも可能です。
HDMI RGB レンジ	HDMI 接続時の色域範囲を調整します。設定は、リミット、フルから選択できます。
ゲーム	HDMI でパソコンや家庭用ゲーム機（PS5、Xbox、Nintendo Switch など）を接続する際、「ゲームモード」に切り替えることで、表示遅延を抑えた滑らかな映像表示を可能にします。
PC モード	HDMI 入力信号が RGB または YUV 4:4:4 の場合に有効です。画質、色彩、ダイナミックコントラスト、シャープネスなどの処理を介さず、信号源の映像を忠実に再現します。
DNR	デジタル処理で映像を解析し、ノイズを低減します。
MPEG NR	MPEG 形式特有の圧縮ノイズを低減します。
AIPQ	チップが映像を識別し、最適な画像処理を自動で行います。
DI フィルムモード	映画のフレーム形式（24fps など）を検知して最適化し、カクつきやノイズを抑えて映画本来の画質を再現します。
MaxVivid	最も鮮やかな画像モードに切り換えます。
Adaptive Luma の制御	映像の内容に合わせて、明るさを自動的に調整します。

ローカルコントラストの制御	映像の部分ごとのコントラストを高め、立体感を向上させます。
ブルーライト低減	ブルーライトの放出を抑える、目に優しいモードです。
ハイパワー	明るさを最大にするモードです。長時間のご使用には適していません。

【ゲーム】

カテゴリ	**項目**	**機能説明**
ゲーム	**ゲームモード：低遅延**	ON にすると、ゲームの表示遅延を抑えることができます。
	ゲーム MJC	低遅延モードを維持したまま、映像の滑らかさを向上させます。
	オプション	遅延レベルへの要求や設置環境に合わせて、【標準】と【ブースト】の異なるゲームモードを選択できます。 【標準】は画面補正が必要な低遅延シーンに適しており、映像調整と応答速度を両立します。一方、【ブースト】は極限の低遅延体験を提供し、e スポーツなどの高い操作精度が求められるシーンに最適です。
	ゲームピクチャーモード	標準、FPS、RPG、RTS、Sports 多彩な画質設定を提供します。 ※先に「画像モード」を「ゲーム」に設定し、「ゲームモード：低遅延」を ON にする必要があります。
	ブラックイコライザー	映像の暗い部分の明るさを調整し、視認性を高めます。
	十字線	画面中央に照準を重ねて表示します。ON にすると、照準の色、形状、位置をカスタマイズできます。
ALLM	/	オンにすると、入力ソースからの低遅延信号を自動的に検出し、低遅延モードへ切り替えることで、快適なゲーム環境を提供します。

リフレッシュレート	/	現在のフレームレートを画面上部にリアルタイムで表示します。

【音声設定】

【サウンドスタイル】

標準、映画、スポーツ、ゲーム、ユーザーから、お好みの音響効果を選択できます。

【オーディオ出力】

デジタル出力: 接続するオーディオ機器に合わせて、デジタル音声の出力形式を選択します。形式によって音質や互換性が異なります。設定項目は以下の通りです。

- 自動: 接続機器の能力に合わせて、最適な出力形式を自動的に選択します
- パススルー：**本機でデコードを行わず、**圧縮信号のまま出力します。外部のアンプ等で処理することで、Dolby などのサラウンド音声を楽しめます。
- PCM: 音声を非圧縮のデジタル音声に変換して出力します。最も互換性が高く、幅広い機器で再生可能です。
- ドルビー デジタル プラス：Dolby Digital Plus (DD+) 出力は Dolby Digital Plus と Atmos に対応したデバイスに適しています
- ドルビー デジタル：Dolby Digital (DD) 出力は Dolby Digital と Dolby Digital Plus に対応したデバイスに適しています
- MAT：HDMI 経由で Dolby 音声を伝送する方式の一つです。PCM 信号にメタデータを付加して伝送します。

オーディオ出力デバイス: 音声のオーディオ出力デバイスを選択します。

- 自動：接続機器に合わせて出力方法を自動調整します。
- テレビのスピーカー：**本体のスピーカーから**出力します。
- HDMI (ARC)：HDMI の **ARC 機能**により、サウンドバーやアンプへ音声を出力します。
- HDMI (eARC)：HDMI の **eARC 機能**により音声を出力します（より広い帯域幅を持ち、高品位な音声

フォーマットに対応しています)。

- BT：**Bluetooth** ヘッドホンやスピーカーへ出力します。

ご注意:

- デジタル出力の設定は、オーディオオーディオ出力デバイスが「HDMI (ARC)」「HDMI (eARC)」の場合のみ有効です。
- 接続機器から音が出ない場合は、一旦【PCM】に設定し、本体音量を調節してケーブルの接続状態を確認してください。

【ネットワークとインターネット】

【Wi-Fi】

Wi-Fi 通信を利用して、ネットワークに接続します。配線の困難な場所への設置に適しています。

接続手順

1. 【設定】->【ネットワークとインターネット】->【Wi-Fi】の順に選択します。
2. Wi-Fi を「有効」にすると、周囲の接続可能な無線ネットワークを自動的に検索します。
3. ネットワーク一覧から、接続対象の Wi-Fi を選択します。
4. Wi-Fi のパスワードを入力し、確定します。
5. 接続完了後、状態表示欄または画面上に接続済みのネットワーク名称が表示されます。

ご注意:

- Wi-Fi 信号が十分に届くよう、過度な距離や障害物を避けて設置してください。
- 接続できない場合は、以下の操作をお試しください。
- パスワードの入力に誤りがないか確認。
- 本機またはルーターの再起動。
- ネットワーク設定を削除し、再接続。
- 公共の無線 LAN はセキュリティ上の危険性があるため、利用には十分ご注意ください。

【プライバシー】

【プライバシー】では、位置情報、マイク、カメラなどの権限設定や、音声アシスタントおよびアプリの権限管理を行います。

【アプリ】

【アプリ】では、アプリの入手、更新、削除のほか、アプリの権限管理を行います。

【システム】

【背景モードのスクリーンセーバー】

多彩な背景項目を収録。好みに合わせた表示設定が可能で、待機時も観賞を楽しめます。

【電源と節電設定】

【電源と節電設定】では、待機状態、タイマー起動・終了、自動電源オン・オフ、表示灯の明るさなどの設定を行います。

【デバイス情報】

項目	**説明**
システムアップデート	システムが最新か確認します。更新がある場合は【ダウンロードして更新】を選択し、バックグラウンドでの取得が可能です。
デバイス名	本機の名称です。任意の設定や変更が可能です。
リセット	工場出荷時の状態に戻します。入手・追加したアプリはすべて削除されます。
ステータス	本機の IP アドレス、MAC アドレス、Bluetooth アドレス、および製造番号を確認できます。
モデル	製品の型番を表示します。

【ユーザー補助】

視覚障害のある方が本機を使用しやすいよう、システムには以下のユーザー補助機能が搭載されています。

スクリーンリーダー：画面上の文字、メニュー項目、その他の要素を読み上げ、視覚障害のあるユーザーの操作を支援します。

1. スクリーンリーダーをオンにする：【設定】->【ユーザー補助】->【Talkback（スクリーンリーダー）】->【有効にする】。
2. テキスト読み上げを設定する：【設定】->【ユーザー補助】->【テキスト読み上げ】。

ディスプレイ：文字サイズや太さを変更できます。また、色覚特性のあるユーザーが見やすいよう、色補正を設定できます。

1. 文字サイズを変更する：【設定】->【ユーザー補助】->【テキストの拡大縮小】。
2. 文字を太字で表示する：【設定】->【ユーザー補助】->【テキストを太字にする】。
3. 色補正：【設定】->【ユーザー補助】->【色補正】。

操作のコントロール：アクセシビリティのショートカット、操作までの待ち時間、キーリピートの遅延時間、スイッチアクセスを設定できます。

1. スクリーンリーダーのショートカットを設定する：【設定】->【ユーザー補助】->【ユーザー補助のショートカット】->【ユーザー補助のショートカットを有効にする】を選択し、【ショートカットサービス】で【Talkback】を選択します。
2. 操作までの待ち時間を設定する：【設定】->【ユーザー補助】->【操作までの時間（ユーザー補助タイムアウト）】。
3. キーリピートの遅延時間を設定する：【設定】->【ユーザー補助】->【キーリピートの遅延】。
4. 外部機器のスイッチアクセスを設定する：【設定】->【ユーザー補助】->【スイッチアクセス】。

音声と画面上のテキスト：画面内容の音声解説を再生できます。また、字幕表示を設定できます。

1. 音声解説をオンにする：【設定】->【ユーザー補助】->【音声による説明】。
2. 字幕表示を設定する：【設定】->【ユーザー補助】->【字幕】。

試験運用版：【設定】->【ユーザー補助】->【高コントラストテキスト】を選択し、文字のコントラストを高めます。

ご注意： Google TV 公式ユーザー補助ガイドラインに基づき、130%の拡大表示は WCAG 1.4.4 AA 相当を満たしており、文字を拡大してもコンテンツの欠け、機能の損失、スクロール異常は発生しません。

【リモコンとアクセサリー】

外部の Bluetooth 機器と接続し、無線での操作が行えます。

【アクセサリーのペア設定】

1. 接続する Bluetooth 機器をペアリング待機状態にします。
2. 本機の【設定】->【リモコンとアクセサリー】->【アクセサリーのペア設定】を選択し、機器を検索します。
3. 接続対象の Bluetooth 機器を選択し、確定します。
4. パスキー（暗証番号）を要求された場合は、画面の指示に従い数値を入力、または確定を選択します。
5. 登録完了後は機器情報が保存され、次回電源投入時に自動接続されます。

ご注意:

- **接続距離**：Bluetooth の有効範囲は通常 10m 以内です。壁や家具などの障害物により、信号品質が低下する場合があります。
- **電波干渉**：Bluetooth と 2.4GHz 帯の無線 LAN は同一周波数を使用するため、相互干渉による通信速度の低下や接続断が発生する場合があります。
- **ペアリング失敗時の対応**：接続できない場合は、登録済みの機器情報を削除して再検索を行うか、Bluetooth 機能を再起動してください。

お手入れ

- お手入れの前に
- お手入れ
- 故障かなと思ったら

05

お手入れの前に

- お手入れを始める前に、必ず電源を切ってください。
- 電源を切る際は、必ず本書「電源オフ」の章に記載された手順に従ってください。

お手入れ

外装：柔らかい乾いた布で、汚れやほこりを拭き取ってください。

- 汚れがひどい場合は、水に浸して固く絞った布で拭き取った後、乾いた布で水分を完全に拭き取ってください。
- ベンジン、シンナー、消毒用アルコール、その他の溶剤やキッチン用洗剤は使用しないでください。外装を傷める原因となります。
- 化学ぞうきんを使用する場合は、そのパッケージに記載されている指示に従ってください。

レンズ：清潔な柔らかい布で、表面の汚れやほこりを拭き取ってください。

- 毛羽立った布、ほこりの付着した布、油や水に濡れた布は使用しないでください。
- レンズは傷つきやすいため、拭く際に強い力を加えないでください。

ご注意：

- 硬い物との接触や、無理な力での拭き取りはレンズ破損の原因となります。取り扱いには十分注意してください。
- 塵埃の多い環境で使用すると、吸気口や排気口の周辺にほこりが堆積する場合があります。設置環境や使用状況により異なりますが、内部の通気・冷却・放熱に悪影響を及ぼし、明るさの低下を招く恐れがあります。

故障かなと思ったら

現象	確認事項
電源が入らない	•電源プラグがコンセントに奥まで差し込まれていますか？壁面コンセントに通電していますか •インジケーターは点灯していますか
映像が出ない	•外部機器と正しく接続されていますか •入力切換で適切な信号源を選択していますか •接続した外部機器は正常に動作していますか •「画面オフ」設定になっていますか
映像がぼやける	•フォーカスは正しく調整されていますか •投写距離は適正ですか •レンズが汚れていますか
映像が暗い	•明るさの設定値が低くなっていますか
色が薄い・不自然	•【設定】->【画像】->【詳細設定】->【ホワイトバランス補正】は適切ですか •外部機器の設定は正しく調整されていますか •接続するケーブルに損傷はありますか
リモコンが反応しない	•電池が切れていますか •電池の向き（極性）は正しいですか？バックライトは点灯しますか •リモコンは有効操作範囲内で使用されていますか
HDMI 映像が表示されない	•ケーブルが長すぎですか。(通常、HDMI ケーブルの長さは 10m 以内を推奨します) •HDMI ケーブルは確実に接続されていますか •入力信号は本機の仕様に適合していますか

付録

- 主な仕様
- 外形寸法

06

主な仕様

項目		Elfin Flip 4K	Elfin Flip Laser	Elfin Flip Plus
ディスプレイ	製品分類	ホームプロジェクター	ホームプロジェクター	ホームプロジェクター
	光源	3 色レーザー	3 色レーザー	LED
	ディスプレイ技術	DLP	DLP	DLP
	ディスプレイチップ	0.39 インチ DMD	0.23 インチ DMD	0.23 インチ DMD
	3D	/	/	/
	対応フォーマット	HDR10, HLG	HDR10, HLG	HDR10
	低遅延	ゲームモード、VRR オン、AK オフ時 ・1ms（1080P@120Hz） ゲームモード、VRR オフ、AK オフ時 ・3ms（4K@60Hz）	ゲームモード、AK オフ時 ・20ms（1080P@60Hz）	ゲームモード、AK オフ時 ・20ms（1080P@60Hz）
	MEMC	対応	対応	/
	輝度	1600 ISO ルーメン	1600 ISO ルーメン	500 ISO ルーメン
	標準解像度	3840×2160 ピクセル	1920×1080 ピクセル	1920×1080 ピクセル
	色域	BT.2020 110%	BT.2020 110%	Rec.709 121%
	コントラスト比	20,000:1 (DBLE オン時)	10,000:1（DBLE オン時）	4,000:1（EBL オン時）
	レンズ	高透過率コーティングレンズ	高透過率コーティングレンズ	高透過率コーティングレンズ
	アイ・プロテクション	対応	対応	対応
設定	自動台形補正	中断なしの自動台形補正	中断なしの自動台形補正	中断なしの自動台形補正
	フォーカス	中断なしのオートフォーカス	中断なしのオートフォーカス	中断なしのオートフォーカス
	スクリーンへの自動アジャスト	対応	画面アジャスト機能搭載	/
	障害物自動回避	対応	/	/
	光学ズーム	対応	/	/
	デジタルズーム	対応	対応	対応
	スローレシオ	0.98～1.3:1	1.2:1	1.2:1
	アスペクト比	16:9	16:9	16:9
	投影方式	フロント / リア / フロント天吊り / リア天吊り	フロント / リア / フロント天吊り / リア天吊り	フロント / リア / フロント天吊り / リア天吊り
	投影サイズ	40～200 インチ	40～200 インチ	40～200 インチ
システム	CPU	MT9660	MT9660	MT9630
	GPU	Mali-G52	Mali-G52	Mali-52

項目		Elfin Flip 4K	Elfin Flip Laser	Elfin Flip Plus
	システム	Google TV	Google TV	Google TV
	高速起動	対応 （スタンバイモード時）	対応 （スタンバイモード時）	対応 （スタンバイモード時）
	ミラーリングディスプレイ	Google Cast/DLNA	Google Cast / DLNA	Google Cast / DLNA
オーディオ	スピーカー	1 × 7W Harman/Kardon	1 × 7W Harman/Kardon	2 x 3W
	DTS-Virtual:X	/	/	/
	DTS-HD	/	/	/
	Dolby Audio	対応	対応	対応
	Dolby Digital (DD)	対応	対応	対応
	Dolby Digital Plus (DD+)	対応	対応	対応
接続性	WiFi	WiFi 6 Dual-band 2.4/5GHz, 802.11a/b/g/n/ac/ax	WiFi 5 Dual-band 2.4/5GHz, 802.11 a/b/g/n/ac	WiFi 5 Dual-band 2.4/5GHz, 802.11 a/b/g/n/ac
	Bluetooth	Bluetooth 5.2	Bluetooth 5.1	Bluetooth 5.1
	入力端子	DC 入力 ×1	DC 入力 × 1	DC 入力 ×1
		HDMI × 2（HDMI1 は eARC に対応）	HDMI ×1（eARC 対応）	HDMI ×1（ARC 対応）
		USB 2.0 × 2	USB 2.0 ×1	USB 2.0 ×1
	出力端子	オーディオ出力 ×1	/	/
電気	ノイズレベル	≤28dB（1m 距離）	≤28dB（1m 距離）	≤28dB（1m 距離）
	消費電力	≤120W	≤120W	≤65W
	電源	AC100～240V、50/60Hz	AC100-240V、50/60Hz	AC100～240V、50/60Hz
寸法	製品サイズ（高さ x 幅 x 奥行）	254×245×78mm	254×245×75mm	235×226×71mm
	製品重量	1.55kg	1.38kg	1.1kg
	梱包サイズ（高さ x 幅 x 奥行）	356×417×151mm	356×417×151mm	291×342×92mm
	梱包重量	2.92kg	2.67kg	1.8kg
同梱品	電源プラグ	× 1	× 1	×1
	取扱説明書	× 1	× 1	×1
	保証書	× 1	× 1	×1
	リモコン	バックライト付き Bluetooth リモコン× 1 (単四電池×2 付属)	バックライト付き Bluetooth リモコン ×1(単四電池×2 付属)	バックライト付き Bluetooth リモコン ×1(単四電池×2 付属)

外形寸法

本体サイズ

梱包寸法